

## ＜参考＞戦争遺跡とは

概ね明治時代から、1945（昭和 20）年の第二次世界大戦終結までの、  
軍事関連施設及び国内外において戦闘が行われた場所に残された跡

### 【本調査における区分と主な具体例】

区分	例
軍事施設	(政治・行政関係) 師団・連隊などの軍官衙 <sup>かんが</sup> (※1)、軍病院・学校など (軍事・防衛関係) 軍飛行場・航空基地・高射砲陣地など
軍需工場	(生産・貯蔵関係) 陸軍造兵廠 <sup>ぞうへいしょう</sup> (※2)・海軍工廠 <sup>こうしょう</sup> (※3)、兵器補給廠 <sup>ほきゅうしょう</sup> (※4)など (交通関係) 軍用鉄道軌道 <sup>しゅう</sup> (※5)など
空襲・戦災	(戦闘・戦場関係) 地上戦が行われた地域、空襲被災地など
その他	(居住地関係) 防空壕の跡 (軍事・防衛関係) 民間防空監視哨 <sup>しやう</sup> (※6) (祭祀・埋葬関係) 軍墓地・慰霊碑・奉安殿 <sup>ほうあんてん</sup> (※7)・軍神像 <sup>ぐんじんざう</sup> (※8)など (その他) 供出梵鐘代替品 <sup>ぼんしょう</sup> (※9)など

- (※1) 軍官衙 司令部庁舎など。
- (※2) 陸軍造兵廠 陸軍が設置・運営した、兵器や弾薬などの工場。
- (※3) 海軍工廠 海軍が設置・運営した、兵器や弾薬などの工場。
- (※4) 兵器補給廠 兵器の保管や補給を行う拠点となる施設。
- (※5) 軍用鉄道軌道 兵器弾薬などの輸送のため、旅客鉄道等と兵器製造工場、補給拠点とを直結させた引込み線など。
- (※6) 民間防空監視哨 敵航空機の来襲を監視する施設のうち、民間（主に地元の青年学校生）によって運営されたもの。
- (※7) 奉安殿 御真影（天皇・皇后の写真）などを保管するための建物。
- (※8) 軍神像 乃木希典像、楠木正成像及び正行父子像、東郷平八郎像など、軍事的な功績を顕彰し、愛国心を育てるために建てられた像。
- (※9) 供出梵鐘代替品 兵器材料とするために回収された金属製梵鐘（寺院の鐘）の代替品。コンクリート製、石製、陶製のものがある。